

整理番号 kumiaihiryo-71
作成日 2025年6月1日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	新しいて高原野菜 1 号
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部門	耕種資材部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号	03-6271-8285
FAX 番号	03-5218-2536
e-mail	zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先	03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用途に限る。肥料用途以外には使用しない。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	区分に該当しない
	可燃性・引火性ガス	区分に該当しない
	可燃性・引火性エアゾール	区分に該当しない
	支燃性・酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性物質	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	分類できない
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
	オゾン層への有害性	区分に該当しない

ラベル要素
絵表示又はシンボル

該当なし

注意喚起語

該当なし

危険有害性情報

該当なし

注意書き

使用前に安全データシート(SDS)を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後は、顔や手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品は特定化学物質第2類物質(マンガン及びその化合物)
を含むため、特定化学物質障害予防規則にしたがって取扱う
こと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

化学名： なし

成分及び含有量%：

成分名	保証成分量
窒素全量	15.0
内アンモニア性窒素	6.8
可溶性りん酸	18.0
内水溶性りん酸	14.0
水溶性加里	6.0
可溶性苦土	3.0
内く溶性苦土	2.0
アルカリ分	12.0
く溶性マンガン	0.40
く溶性ほう素	0.20

危険有害成分

1.	化学名又は一般名	成分含有量	CAS No.	含有量 (%)
	熔成微量要素複合肥料 (ガラスフリット)	MnO 19% B ₂ O ₃ 9%	65997-18-4	3.3
	官報公示整理番号	化管法 412・405	安衛法	550

(成分表示は保証成分に限る)

4. 応急措置

吸入した場合

粉じんを大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、新鮮な
空気のある場所で安静にさせ、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

石鹼と水でよく洗う。外観に変化が見られる場合や痛みがある
場合には医師の診断を受ける。

眼に入った場合

ガラス片が眼球に刺さっている場合があるので、無理にこすら
ないで、多量の水で数分間洗い流す。

コンタクトを着用していて容易に外せる場合は外して、洗浄
する。その後、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受ける
こと。

5. 火災時の措置
適切な消火剤
使用してはならない
消火剤
すべての消火剤の使用可
特になし。
- 特有の危険有害性
製品から生じる特有の危険有害燃焼生成物はない。
自体は不燃性であるが、加熱されると有害なヒュームを発生
する可能性がある。
- 特有の消火方法
消火を行う者の保護
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
適切な保護マスク、保護服(耐熱性)を着用して消火を行う。
6. 漏出時の措置
人体に対する注意
事項、保護具および
緊急時措置
直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入を禁止し、漏洩物の中を歩いたり、不必要に
漏洩物に触れたりしない。
作業の際には適切な保護具(手袋・防塵マスク・ゴーグル等)
を使用し、服、皮膚への吸入を避ける。
- 環境に対する注意
事項、封じ込め及び
浄化の方法
環境への放出を避けること。
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
漏洩物に掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理
する。
- 二次災害の防止策
プラスチックシートで覆い、散乱や粉じんの発生を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い
技術的対策
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。
- 局所排気装置・全体換気
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行
う。
- 安全取扱い注意事項
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
適切な個人用保護具を使用すること。
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 接触回避
衛生管理
特になし。
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗うこと。
- 保管
技術対策
接触禁止物質
保管条件
特になし。
特になし。
容器を密閉して換気の良い涼しい所で保管すること。
施錠して保管すること。
- 容器包装材料
包装容器に規制はないが、密閉した破損しないものに入れる。
8. ばく露防止及び保護措置
熔成微量要素複合肥料
管理濃度
マンガン及びその化合物(2021年版)
0.05mg/m³(Mnとして)
- 許容濃度
日本産業衛生学会(2022年版)
マンガン及びその化合物
(ただし有機マンガン化合物を除く) Mnとして
0.02mg/m³ 吸入性粉じん(第2種)
0.1mg/m³ 総粉じん(第2種)
- ACGIH TLV-TWA
酸化ほう素(ほう素及びその化合物)(2012年版)
10mg/m³
マンガン及びその化合物
(ただし塩基性酸化マンガンを除く) Mnとして(2017年版)

0.1mg/m³(Inhal)
 0.02mg/m³(Respi)
 酸化カルシウム (2016年版)
 2mg/m³

設備対策 排気装置などを設けて、粉塵が滞留しないようにすること。
 保護具 適切な防塵マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を使用すること。
 衛生対策 この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後は、手、顔等をよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

熔成微量元素複合肥料	
物理的状态、形状、色など	茶褐色、粒状品
臭い	無臭
軟化温度	700℃前後
沸点	データなし
燃焼又は爆発範囲	該当しない
引火点	該当しない
自然発火温度	該当しない
分解温度	該当しない
pH	該当しない
動粘性率	該当しない
溶解度	常温の水および有機溶剤には、ほとんど溶けない。
オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度	約1.0g/cm ³
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	平均粒径 2.5～3.0mm

10. 安定性及び反応性

安定性	常温常湿での保管及び取扱いにおいては安定である
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	湿気
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	特になし

11. 有毒性情報

急性毒性	経口：データなしのため分類できない 経皮：データなしのため分類できない 吸入
	ガス 該当しない 蒸気 分類できない 粉塵、ミスト 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器/全身毒性 (単回曝露)	分類できない
特定標的臓器/全身毒性 (反復曝露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
------	-------

残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	規制対象物質に該当しない

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規並びに自治体の基準に

汚染容器及び包装

従うこと。
容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号
輸送又は輸送手段に
関する特別な安全
対策
国内規制

該当しない
輸送に際しては、容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷、水濡れがないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
陸上、海上、航空いずれの輸送においても該当しない。

1 5. 適用法令

熔成微量要素複合肥料
化学物質排出把握管理
促進法
労働安全衛生法

第一種指定化学物質

名称等を表示および通知すべき危険物及び有害物
(マンガン及びその無機化合物)
特定化学物質第2類(マンガン及びその化合物)
作業環境評価基準(マンガン及びその化合物)

肥料の品質の確保等に
関する法律

熔成微量要素複合肥料

1 6. その他の情報

本データシートは、現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分では可能性があり、いかなる保証をするものではありません。
本データシートは、通常の取扱いを対象としたものです。本製品の使用方法については、本データシートを参考の上、使用者の責任においてお決め下さい。
特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、取扱い願います。
ここに記載された内容は、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂される可能性があります。
記載内容のうち、含有量、物理的及び化学的性質等の値は品質保証値ではありません。

参考文献

TOMATEC株式会社 FTE粒状1号 安全データシート

本SDSは、下記くみあい肥料株式会社の情報を元に作成しました。
該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	くみあい肥料株式会社
担当部署	品質管理室
住所	〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第5地割146番地
電話番号	0198-26-3313
FAX番号	0198-26-3316
緊急連絡番号	0198-26-3313